

ミラクルソル工法 水質浄化をNETIS登録

日本建設技術(株)グループが研究成果発表会

冒頭、原社長は「日本建設技術グループでは信頼と技術を重視して事業を展開し、新し

い地域での建設業の在り方に挑戦してきた。地域で頑張る建設業の姿を発信するため、04年から研究成果発表会を開催しており、今後

も環境分野に重点を置きながら新たな販路開拓に努めたい。また、研究開発の会社として時代のニーズに的確に合ったものを感じ取りながら、競争力と経営力を高めて新たな挑戦を続け持続可能な会社づくりに邁進したい」と挨拶した。



挨拶する原裕社長

成果発表では、企画開発戦略本部と総合情報技術事業本部の部長も務める原社長が14年度と同グループの活動内容やミラクルボー

ドソイルストップ(MBSS)工法の改良型を紹介。ミラクルソルの特徴や工法開発の目

的などを説明した上で「MBSS工法における植物根の活着をさらに促進させ、厚層基盤材の剥離や滑りを防止することを目的にミラクルボードを改良した」などと話した。

最後に佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長の荒木宏之氏が「信頼と技術を会社のモットーとし、情報発信、企業セミナー、技術開発を継続してきたことが大きな力になっていると感じる。佐賀大学と共同研究してい

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

このほか、発表会では功労者表彰、新入社員紹介も行われた。

「信頼と技術を会社のモットーとし、情報発信、企業セミナー、技術開発を継続してきたことが大きな力になっていると感じる。佐賀大学と共同研究してい

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。

た上で、「技術者は技術的課題を見つけて出し、常に探求し具体化する」ことが大切」と話した。



MBSS工法の改良型など紹介された研究成果発表会

佐賀建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
TEL 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,940円(税込)
毎週火・木・土曜日発行
日本専門新聞協会会員